



# 工事数量総括（内訳）表

第 30-01-101-1-110 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路改良			1	式		
道路土工			1	式		
路体盛土工			1	式		路体(築堤)盛土 120.000 m3
土砂運搬			1	式		土砂等運搬 70.000 m3
法面工			1	式		
法面整形			1	式		法面整形 80.000 m2
擁壁工			1	式		
作業土工			1	式		床掘り 70.000 m3 埋戻し 30.000 m3
場所打擁壁工(構造物単位)			1	式		重力式擁壁 45.400 m3
排水構造物工			1	式		
作業土工			1	式		埋戻し 10.000 m3 床掘り 30.000 m3
側溝工			1	式		プレキャストU型側溝 24.000 m 側溝蓋 24.000 枚
管渠工			1	式		鉄筋コンクリート台付管 9.500 m
集水桝・マンホール工			1	式		プレキャスト集水桝 3.000 箇所
カルバート工			1	式		
プレキャストカルバート工			1	式		プレキャストボックス 7.000 m
構造物撤去工			1	式		

# 工事数量総括（内訳）表

第 30-01-101-1-110 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳	
構造物取壊し工			1	式		舗装版切断	46.000 m
						舗装版破碎	50.000 m2
						コンクリート構造物取壊し	44.000 m3
運搬処理工			1	式		殻運搬	44.000 m3
						殻処分	44.000 m3
舗装			1	式			
舗装工			1	式			
アスファルト舗装工（仮復旧）			1	式		路盤工	30.000 m2
						表層（仮復旧）	30.000 m2
共通仮設			1	式			
共通仮設費			1	式			
安全費			1	式		安全管理員	10.000 人日
直接工事費計			1	式			
共通仮設費（率計上）			1	式			
共通仮設費計			1	式			
純工事費			1	式			
現場管理費			1	式			
工事原価			1	式			
一般管理費等			1	式			
契約保証費用			1	式			
工事価格			1	式			

# 工事数量総括（内訳）表

第 30-01-101-1-110 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
消費税相当額						
			1	式		
請負工事費						
			1	式		

# 本工事費内訳書

第 30-01-101-1-110 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路改良									
道路土工									
路体盛土工									
路体(築堤)盛土					120.000	m3			
路体(築堤)盛土 施工幅員(2.5m以上4.0m未満)					120.000	m3			施工P 第0001号代価表
土砂運搬									
土砂等運搬					70.000	m3			
土砂等運搬 土砂等発生現場(標準),積込機種・規格(ハック山積0.45m3(平積0.35m3)),土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(10.0km以下)					70.000	m3			施工P 第0002号代価表
法面工									
法面整形									
法面整形					80.000	m2			
法面整形 整形箇所(盛土部),法面締固めの有無(有り),現場制約の有無(無し),土質(埴質土、砂及び砂質土、粘性土),費用の内訳(全ての費用)					80.000	m2			施工P 第0003号代価表
擁壁工									
作業土工									
床掘り					70.000	m3			

# 本工事費内訳書

第 30-01-101-1-110 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
床掘り				土質区分(土砂), 施工方法(標準), 土留方式の種類(無し), 障害の有無(障害無し)	70.000	m3			施工P 第0004号代価表
埋戻し					30.000	m3			
埋戻し				施工方法(最大埋戻幅1m以上4m未満)	30.000	m3			施工P 第0005号代価表
場所打擁壁工(構造物単位)									
重力式擁壁					45.400	m3			
重力式擁壁				擁壁平均高さ(1m超2m未満), コンクリート規格(18-8-25(高炉)), 基礎碎石の有無(有り), 均しコンクリートの有無(無し), 養生工の種類(一般養生), 圧送管延長距離区分(延長無し)	45.400	m3			施工P 第0006号代価表
排水構造物工									
作業土工									
埋戻し					10.000	m3			
埋戻し				施工方法(最大埋戻幅1m未満)	10.000	m3			施工P 第0007号代価表
床掘り					30.000	m3			
床掘り				土質区分(土砂), 施工方法(平均施工幅1m以上2m未満), 土留方式の種類(無し), 障害の有無(障害無し)	30.000	m3			施工P 第0008号代価表
側溝工									
プレキャストU型側溝					24.000	m			

# 本 工 事 費 内 訳 書

第 30-01-101-1-110 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
長尺U字溝(車道用・スラグ入り含む)[土木工事標準単価] 作業区分(据付), U字側溝種類(KUR300*300), 夜間作業の有無(無), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所による補正(無), 基礎砕石施工の有無(有), 基礎砕石の種類(再生クランチャー RB-40), 基礎砕石設計数量(0.55 m3/10m)	24.000	m			
側溝蓋	24.000	枚			
コンクリート側溝蓋(歩道用)(県規格)[土木工事標準単価] 作業区分(据付), 蓋版の種類(ISL-300), 夜間作業の有無(無), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所による補正(無)	22.000	枚			
鋼鉄製蓋布設(長尺U字溝)(T14)[土木工事標準単価] 作業区分(据付), 蓋版の種類(T-14 300用), 夜間作業の有無(無), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所による補正(無)	2.000	枚			
管渠工					
鉄筋コンクリート台付管	9.500	m			
鉄筋コンクリート台付管 作業区分(据付), 管径(300mm), 費用の内訳(全ての費用)	9.500	m			施工P 第0009号代価表
集水枡・マンホール工					
プレキャスト集水枡	3.000	箇所			
プレキャスト集水枡 作業区分(据付), 製品質量(kg/基)(800kgを超え1200kg以下), 基礎砕石の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)	3.000	基			施工P 第0010号代価表
プレキャスト集水枡(600*600*600)	1.000	基			施工P 第0011号代価表
プレキャスト集水枡(600*600*700)	1.000	基			施工P 第0012号代価表

# 本工事費内訳書

第 30-01-101-1-110 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
プレキャスト集水桝(600*600*800)	1.000	基			施工P 第0013号代価表
カルバート工					
プレキャストカルバート工					
プレキャストボックス	7.000	m			
ボックスカルバート 作業区分(据付), 製品長(2.0m/個), 内空幅・ 内空高 (m) (0<B≤1.25 0<H≤1.25), 基礎 材種別(基礎砕石+均しコンクリート), PC鋼材に よる縦締め(無し), ラフレージン貨料補正係 数(標準), 費用の内訳(全ての費用)	7.000	m			施工P 第0014号代価表
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
舗装版切断	46.000	m			
舗装版切断 舗装版種別(コンクリート舗装版), コンクリート舗装版 厚(15cm以下), 費用の内訳(全ての費用)	46.000	m			施工P 第0015号代価表
舗装版破碎	50.000	m2			
舗装版破碎 舗装版種別(コンクリート舗装版), 障害等の有無( 無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(10cm 以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳( 全ての費用)	50.000	m2			施工P 第0016号代価表
コンクリート構造物取壊し	44.000	m3			
構造物とりこわし 構造物区分(無筋構造物), 工法区分(機械施 工), 施工規模による加算(10m3以上), 時間 的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業 補正(無), 低騒音・低振動対策(不要)	43.000	m3			

# 本工事費内訳書

第 30-01-101-1-110 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
構造物とりこわし 構造物区分(鉄筋構造物),工法区分(機械施工),施工規模による加算(10m3以上),時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間作業補正(無),低騒音・低振動対策(不要)	1.000	m3			
運搬処理工					
殻運搬	44.000	m3			
殻運搬 殻発生作業(Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし),積込工法区分(機械積込),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(49.5km以下),費用の内訳(全ての費用)	38.000	m3			施工P 第0017号代価表
殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎),積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(60.0km以下),費用の内訳(全ての費用)	6.000	m3			施工P 第0018号代価表
殻処分	44.000	m3			
コンクリート廃材処理費(中間処理施設) コンクリート塊(無筋) 30cm以下	101.000	t			
コンクリート廃材処理費(中間処理施設) コンクリート塊(有筋) 30cm以下	3.000	t			
舗装					
舗装工					
アスファルト舗装工(仮復旧)					
路盤工	30.000	m2			
路盤(仮復旧) 平均厚さ(75mmを超え125mm以下),材料(再生クラッシュ RC-40),費用の内訳(全ての費用)	30.000	m2			施工P 第0019号代価表

# 本 工 事 費 内 訳 書

第 30-01-101-1-110 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
表層(仮復旧)	30.000	m2			
表層(仮復旧) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)),1層 当平均仕上厚 50mm以下(30 mm),材料(再生 粗粒度アスファルト混合物 (20) ),瀝青材料種類 (ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄﾞ PK-3),費用の内訳(全ての費用)	30.000	m2			施工P 第0020号代価表
共通仮設					
共通仮設費					
安全費					
安全管理員	10.000	人日			
交通誘導警備員B 作業区分(昼間勤務(交替要員無し))	10.000	人日			
直接工事費計					
共通仮設費 (率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
契約保証費用					
工事価格					

# 本 工 事 費 内 訳 書

第 30-01-101-1-110 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 路体(築堤)盛土

施工P(機20.39%, 労74.65%, 材4.96%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (1次基準) ] 3 t 級	10.370	%			K1
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量 3 ~ 4 t	10.020	%			K2
運転手 (特殊)	65.610	%			R1
普通作業員	9.040	%			R2
軽油 1. 2号	4.960	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

J 0 1 条件名称  
施工幅員

入力値  
2

入力名称  
2.5m以上4.0m未満

第 0002 号 代価表 土砂等運搬

施工P(機49.71%, 労37.76%, 材12.53%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	49.710	%			K1
運転手 (一般)	37.760	%			R1
軽油 1.2号	12.530	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 土砂等発生現場	1	標準
J02 積込機種・規格	3	バックホウ山積0.45m3 (平積0.35m3)
J03 土質	1	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J04 DID区間の有無	1	無し
J09 運搬距離 (km) (DID区間無)	9	10.0km以下

第 0003 号 代価表 法面整形

施工P(機28.66%, 労62.86%, 材8.48%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.8m <sup>3</sup>	28.660	%			K1
普通作業員	26.570	%			R1
運転手(特殊)	22.590	%			R2
世話役	13.700	%			R3
軽油 1.2号	8.480	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 整形箇所	1	盛土部
J02 法面締固めの有無	1	有り
J03 現場制約の有無	2	無し
J04 土質	1	け質土、砂及び砂質土、粘性土
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0004 号 代価表 床掘り

施工P(機46.89%, 労38.18%, 材14.93%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.8m <sup>3</sup>	46.890	%			K1
運転手(特殊)	38.180	%			R1
軽油 1.2号	14.930	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質区分	1	土砂
J02 施工方法	1	標準
J03 土留方式の種類	1	無し
J04 障害の有無	1	障害無し

第 0005 号 代価表 埋戻し

施工P(機13.52%, 労82.51%, 材3.97%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第2次) 山積0.8m <sup>3</sup>	11.590	%			K1
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.8~1.1t	1.820	%			K2
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.110	%			K3
普通作業員	51.340	%			R1
特殊作業員	22.570	%			R2
運転手 (特殊)	8.600	%			R3
軽油 1.2号	3.880	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.090	%			Z2
			(標準単価 積算単価	)	

J 0 1	条件名称 施工方法	入力値 3	入力名称 最大埋戻幅1m以上4m未満
-------	--------------	----------	-----------------------

第 0006 号 代価表 重力式擁壁

施工P(機2.01%, 労65.69%, 材32.30%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m <sup>3</sup> /h	1.490	%			K1
普通作業員	24.830	%			R1
型枠工	16.640	%			R2
世話役	5.430	%			R3
特殊作業員	1.070	%			R4
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉	32.050	%			Z1
軽油 1.2号	0.190	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 擁壁平均高さ	1	1m超2m未満
J02 コンクリート規格	14	18-8-25 (高炉)
J03 基礎砕石の有無	2	有り
J04 均しコンクリートの有無	1	無し
J05 養生工の種類	1	一般養生
J06 圧送管延長距離区分	1	延長無し

第 0007 号 代価表 埋戻し

施工P(機7.00%, 労90.46%, 材2.54%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第1次) 山積0.45m <sup>3</sup>	6.230	%			K1
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.770	%			K2
普通作業員	54.980	%			R1
特殊作業員	27.000	%			R2
運転手 (特殊)	8.480	%			R3
軽油 1.2号	1.940	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.600	%			Z2
			(標準単価 積算単価	)	

J01 条件名称  
施工方法

入力値  
4

入力名称  
最大埋戻幅1m未満

第 0008 号 代価表 床掘り

施工P(機34.18%, 労55.24%, 材10.58%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第1次) 山積0.45m3	34.180	%			K1
運転手(特殊)	55.240	%			R1
軽油 1.2号	10.580	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質区分	1	土砂
J02 施工方法	2	平均施工幅1m以上2m未満
J03 土留方式の種類	1	無し
J04 障害の有無	1	障害無し

第 0009 号 代価表 鉄筋コンクリート台付管

施工P(機6.53%, 労24.49%, 材68.98%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ（クローラ）〔標準・クレーン機能付き〕 排ガス型（第1次） 山積0.45m <sup>3</sup> 2.9t吊	5.310	%			K1
普通作業員	7.080	%			R1
運転手（特殊）	6.700	%			R2
世話役	4.110	%			R3
特殊作業員	2.020	%			R4
鉄筋コンクリート台付管	67.100	%			Z1
軽油 1.2号	1.530	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	作業区分	1	据付
J 0 2	管径	3	300mm
J 0 5	費用の内訳	1	全ての費用

第 0010 号 代価表 フレキャスト集水桝

施工P(機18.32%, 労76.38%, 材5.30%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 基 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準・クレーン機能付き] 排ガス型 (第1次) 山積0.45m <sup>3</sup> 2.9t吊	15.270	%			K1
普通作業員	21.900	%			R1
運転手 (特殊)	19.260	%			R2
世話役	16.930	%			R3
特殊作業員	5.570	%			R4
軽油 1.2号	4.420	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付
J 0 2 製品質量 (kg/基)	4	800kgを超え1200kg以下
J 0 3 基礎碎石の有無	1	有り
J 0 4 費用の内訳	1	全ての費用







第 0014 号 代価表 ボックスカルバート

施工P(機4.87%, 労18.78%, 材76.35%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型] 25t吊	2.550	%			K1
普通作業員	5.210	%			R1
世話役	2.790	%			R2
特殊作業員	1.830	%			R3
ボックスカルバート	76.350	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 作業区分	1	据付
J02 製品長	3	2.0m/個
J03 内空幅・内空高 (m)	1	0<B≤1.25 0<H≤1.25
J04 基礎材種別	1	基礎砕石+均しコンクリート
J05 PC鋼材による縦締め	1	無し
J06 ラフテレーンクレーン賃料補正係数	1	標準
J08 費用の内訳	1	全ての費用

第 0015 号 代価表 舗装版切断

施工P(機5.44%, 労42.46%, 材52.10%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	3.490	%			K1
特殊作業員	14.540	%			R1
普通作業員	12.680	%			R2
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	49.970	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.370	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	2	コンクリート舗装版
J03 コンクリート舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0016 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機8.85%, 労85.77%, 材5.38%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	8.850	%			K1
普通作業員	40.110	%			R1
世話役	23.180	%			R2
運転手 (特殊)	22.480	%			R3
軽油 1.2号	5.380	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	2	コンクリート舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	3	10cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0017 号 代価表 殻運搬

施工P(機49.71%, 労37.76%, 材12.53%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	49.710	%			K1
運転手 (一般)	37.760	%			R1
軽油 1.2号	12.530	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	1	Co (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし
J 0 2 積込工法区分	1	機械積込
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 0 4 運搬距離 (km) (DID区間無)	15	49.5km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用

第 0018 号 代価表 殻運搬

施工P(機49.71%, 労37.76%, 材12.53%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	49.710	%			K1
運転手 (一般)	37.760	%			R1
軽油 1.2号	12.530	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	2	舗装版破碎
J 0 2 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 1 0 運搬距離 (km) (DID区間無)	7	60.0km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用

第 0019 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機6.48%, 労69.19%, 材24.33%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	3.360	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.940	%			K2
普通作業員	29.110	%			R1
運転手(特殊)	24.410	%			R2
特殊作業員	13.660	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	22.740	%			Z1
軽油 1.2号	1.550	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	2	75mmを超え125mm以下
J02 材料	6	再生クラッシャー RC-40
J03 費用の内訳	1	全ての費用

第 0020 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.52%, 労46.25%, 材53.23%, 市0.00%)

第 30-01-101-1-110号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	0.350	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	0.090	%			K2
特殊作業員	18.290	%			R1
普通作業員	15.950	%			R2
世話役	4.630	%			R3
再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物(20)	47.360	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	5.770	%			Z2
ガソリン レギュラー	0.060	%			Z3
軽油 1.2号	0.030	%			Z4
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	1	1.4m未満(仕上厚50mm以下)
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	30	30 mm
J05 材料	12	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用

## 特記仕様書

### (総則)

第1条 本特記仕様書は、石岡市の発注する建設土木工事に適用する。

2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

### (工期)

第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇のほか、作業期間中の全土曜日を含んでいる。

### (工事数量)

第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

### (工程関係)

第4条 工事の作業時間帯は、下表のとおりとすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

### (電柱移設)

第5条 工区内において、電柱移設が未完了の部分があり、平成30年8月30日までに完了する予定である。なお、期日までに処理できないことが判明した場合には、速やかに発注者から受注者に対して通知することとする。

### (建設資材)

第6条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたりサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
排水構造物工	再生砕石	RB-40
擁壁工	再生砕石	RB-40
As舗装工	再生砕石	RC-40
As舗装工	再生粗粒As(20)	

### (建設機械)

第7条 使用機械のうち、バックホウについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上のものを使用すること。

2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

第8条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

第9条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(交通誘導員の配置)

第10条 工事の施工にあたっては、交通誘導員を配置し、一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお、交通誘導員は警備業者の交通誘導業務に従事する警備員とすること。

(発生土の処理)

第11条 本工事における発生土については、下記により搬出すること。

- (1) 搬出先にストックヤードを利用するよう指定されている場合は、設計書により(財)茨城県建設技術管理センター(以下「管理センター」という)、が管理する所定のストックヤードを利用すること。
- (2) 工事着手前に、ストックヤードの利用申込みを管理センターに対して行うこと。
- (3) 事前にストックヤードに搬出する土砂の土質試料を採取し、必要な試験を行うとともに、その結果を管理センターへ提出すること。
- (4) 搬出する10日以上前に、管理センターと運搬経路、工程等について打ち合わせを行うこと。
- (5) スtockヤード利用料金は、設計地山土量1m<sup>3</sup>当たりの単価で算出し、管理センターの請求により支払うこと。
- (6) このほかストックヤード利用の詳細については管理センターと協議のこと。

(不正軽油の使用防止)

第12条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状

- 態を解消する措置を講じること。
- (5) 下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
  - (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
  - (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(隣接工事との諸経費の調整)

第13条 該当なし

(労働安全衛生法等の遵守)

第14条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて杭等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
  - (2) 受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
  - (3) 受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
  - (4) 受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
  - (5) 受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
  - (6) 受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第15条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。













作業土工計算書

名 称	床 掘(土砂) (m3)			埋 戻(土砂) (m3)			(埋戻)下層路盤 RC-40 (m2)			(埋戻)上層路盤 M-30 (m2)			表層 (m2)			備 考
	単位数	延長	土 量	単位数	延長	土 量	単位数	延長	数 量	単位数	延長	数 量	単位数	延長	数 量	
遠心ボックスカルバートφ300	6.60	9.5	6.27	3.80	9.5	3.61										3号横断溝排水詳細断面図
UKボックス300×300	1.30	7.0	0.91	0.40	7.0	0.28										3号横断溝排水詳細断面図
合計			7.18			3.89		RC-40 t=20cm	0.00		M-30 t=15cm	0.00		t=5cm	0.00	







# 一般計算書

種 別：排水工  
 ブロック：一般計算書  
 区 分：

細別／規格	算 式	数 量
長尺U字溝 KUR300×300	$22.0 + 2.0 = 24.0$	24.0 m
コンクリート蓋 IRL-300 L=1000	$21.0 + 1.0 = 22.0$	22.0 枚
グレーチング蓋 IH0-1 L=1000	$1.0 + 1.0 = 2.0$	2.0 枚
遠心ボックスカルバート φ300	$9.5 = 9.5$	9.5 m
UKボックス 300×300	$7.0 = 7.0$	7.0 m
6号集水柵 600×600×600	$1.0 = 1.0$	1.0 基
7号集水柵 600×600×700	$1.0 = 1.0$	1.0 基
8号集水柵 600×600×900	$1.0 = 1.0$	1.0 基























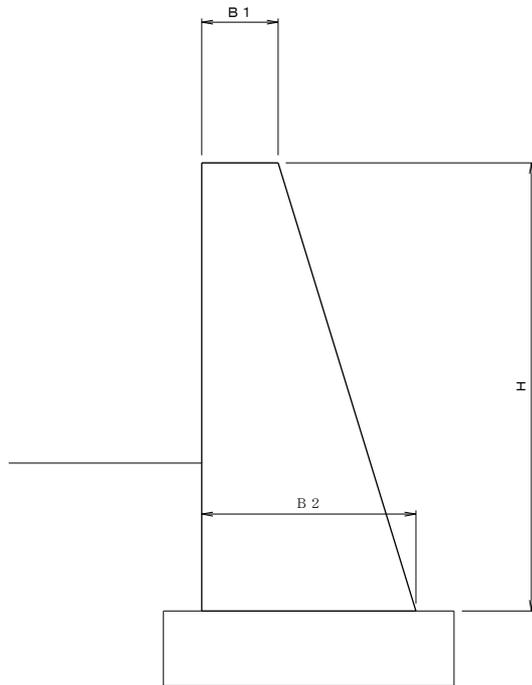
### 構造物取壊・撤去 集計表

番号	無筋Co取壊し		鉄筋Co取壊し		二次製品取壊し		舗装切断 As,Co	備考
	(m3)	t	(m3)	t	(m3)	t		
18	36.80	86.48						
19					1.004	2.511		
20	0.51	1.19						
21	0.51	1.19						
25								19に計上
26								計算表に計上
28					0.38	0.96		
計	37.81	88.86	0.00	0.00	1.39	3.47	0.00	

⑱ 重力式擁壁撤去  
 H=2.00m L= 23.0 m

1.0 式 当り

単 位 数 量 表



B1	300	mm
B2 ※	1,300	mm
H ※	2,000	mm

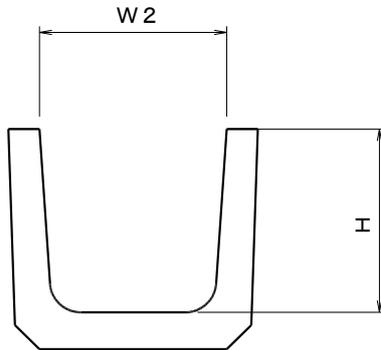
※は推定

名 称	計 算 式	数 量
延 長	23.0 + + +	
	+ + + =	23.00 m
コンクリート取壊し		
体積	( 0.30 + 1.30 ) ÷ 2 × 2.00 × 23.00	36.800 m <sup>3</sup>
現場打ち側溝		
	重量 36.800 × 2.35 t/m <sup>3</sup> 重量 = 86.480 t	86.480 t

①9,25 U字溝撤去  
U-300B

18.6 m 当り

単位数量表



本体単位重量	81	kg/本
単位長さ	0.6	m/本

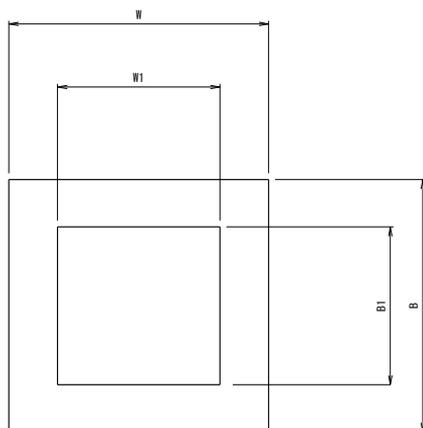
W2	300	mm
H	300	mm

名称	計 算 式	数 量
延長	16.2 + 2.4 + +	
	+ + + =	18.60 m
コンクリート取壊し	二次製品鉄筋コンクリート単位体積重量 2.5 t/m <sup>3</sup>	
	本体 単当たり本数 18.6 ÷ 0.60 本 = 31.0 本	
	本体 単当たり重量 ( 31.0 × 81 )/1000 = 2.51 t	
	総重量 2.5	2.511 t
	総体積 2.5 ÷ 2.50	1.00 m <sup>3</sup>

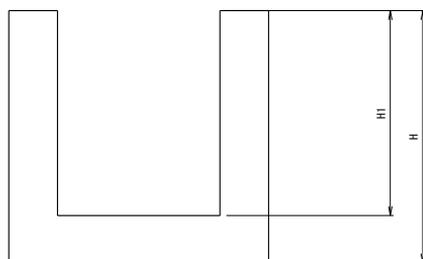
20 集水桝撤去  
700×700×700

1.0 基 当り

単 位 数 量 表



W	1,000	mm
W1	700	mm
B	1,000	mm
B1	700	mm
H※	850	mm
H1	700	mm

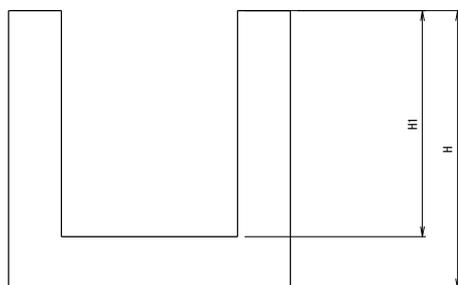
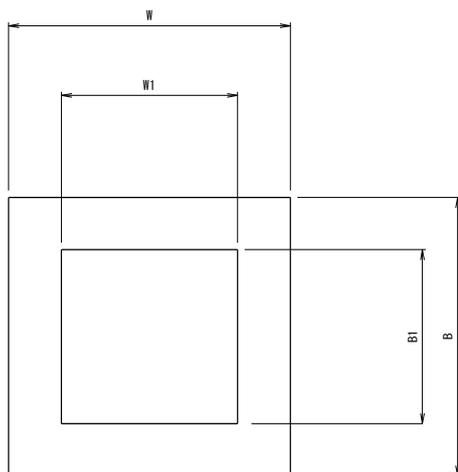


名 称	計 算 式	数 量
コンクリート取壊し	$1.000 \times 1.000 \times 0.850 - 0.700 \times 0.700 \times 0.700 = 0.507$	
		0.507 m <sup>3</sup>
1基当たり体積		0.507 m <sup>3</sup>
1基当たり重量	$0.507 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 1.191 \text{ t}$	1.191 t

21 集水桝撤去  
700×700×700

1.0 基 当り

単 位 数 量 表

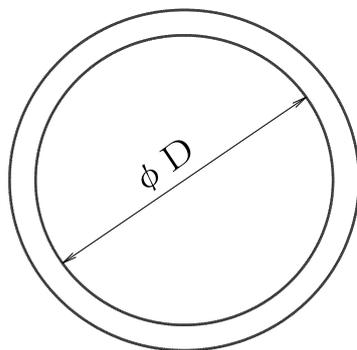


W	1,000	mm
W1	700	mm
B	1,000	mm
B1	700	mm
H※	850	mm
H1	700	mm

名 称	計 算 式	数 量
コンクリート取壊し	$1.000 \times 1.000 \times 0.850 - 0.700 \times 0.700 \times 0.700 = 0.507$	
		0.507 m <sup>3</sup>
1基当たり体積		0.507 m <sup>3</sup>
1基当たり重量	$0.507 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 1.191 \text{ t}$	1.191 t

28 ヒューム管撤去  
φ 400

7.6 m 当り 単 位 数 量 表



本体単位重量	306	kg/本
単位長さ	2.43	m/本

D	400	mm

名 称	計 算 式	数 量
延 長	7.6 + + +	
	+ + + =	7.60 m
コンクリート取壊し	二次製品鉄筋コンクリート単位体積重量 2.5 t/m <sup>3</sup>	
	本体 単当たり本数 7.6 ÷ 2.43 本 = 3.1 本	
	本体 単当たり重量 ( 3.13 × 306 )/1000 = 0.96 t	
	総重量 0.957	0.957 t
	総体積 0.957 ÷ 2.50	0.38 m <sup>3</sup>

